

## 北海道大学第一外科レポート

中村 慧

5月29日から7月7日までの6週間、消化器外科Iにて長期実習をさせていただきました。大学病院、苫小牧市立病院、岩見沢市立総合病院にてそれぞれ2週間ずつお世話になりました。

大学病院では移植グループにて実習させていただきました。移植グループでは状態は様々で経過の長い患者さんも多く全体を把握するのは大変でしたが、先生方にご指導いただいたおかげでとても勉強になりました。そして実際に肝臓移植を見学することができ、術前の全身状態評価から手術当日まで、肝臓移植の一連の流れを学ぶことができました。またUAEからの留学生が移植グループの実習で一緒になり、日本とは違った医学や移植に対する考え方に触れることができ、非常に充実した二週間でした。

苫小牧市立病院と岩見沢市立病院では外科の先生方と行動を共にし、市中病院の外科医の役割を学びました。毎日朝のカンファレンスから始まり、回診をしてから午前午後の手術をこなし、夕方にまた回診をして翌日の手術の準備をする。さらには1~2日に一度の頻度で緊急手術が入る。文字に起こせば短いですが、その現場にはたくさんの時間と労力がかかけられ、多大な経験と知識によって支えられていることを知りました。またこれらの病院では消化器だけではなく、呼吸器、乳腺、血管系など、幅広い疾患に対応し、基幹病院の外科として地域を支えている現場を実感することができました。夜には先生方に頻繁にご飯や飲み会に連れて行って頂き、忙しくも楽しい外科実習でした。

6週間という短い間ではありましたが、いずれの病院でも5年生での短期実習では経験できなかった、当時は見えていなかった多くの経験をすることができました。このような貴重な機会を与えていただき、そして暖かいご指導をしていただき、第一外科の先生方、秘書の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。実習を通して学んだことを忘れずに、今後の医師としての人生に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



私は6週間、北海道大学病院第一外科にて実習をさせていただきました。

他科の実習とは異なり、数週間の間市中病院で実習させて頂けることは第一外科での実習の魅力の1つです。私は2週間で北大病院、4週間で天使病院にて実習させていただきました。私は札幌市内の天使病院を選びましたが、希望すれば函館、旭川、砂川、釧路など道内各地で実習が可能です。第一外科の実習を選択した同期には Cleveland Clinic にて実習を行っていた者もいましたので、外科をあまり考えていない学生でも、北大病院以外の病院にて実習を行えるので第一外科で実習を行うメリットは大きいと思います。

#### <大学病院>

大学病院では小児グループにお世話になりました。また、実習期間中には仙台で小児外科学会が開催されていたため、同行させて頂き、大変貴重な経験をさせていただきました。小児外科医を志している私には大変刺激になりました。有難うございました。

#### <天使病院>

天使病院では外科・小児外科にて実習させて頂き、胆道拡張症のような貴重な症例の他にも、ヘルニア、虫垂炎、胆嚢炎のような common disease を多く拝見させていただきました。天使病院での実習で最も良かった点は1年目や2年目の研修医の先生方の様子を大学よりも身近に拝見できたことです。近い将来自分がこのように働くことができるのだろうかと不安になると同時に、頑張らなければならないんだと刺激を頂きました。

#### <国家試験>

学生の身としては実習よりも国試勉強に時間を割きたいと考えている方が大半だと思います。私も同様でした。ですが、国家試験を終えて、第一外科での実習が大変有意義な時間であったと感じています。112回の国家試験でも外科での手技や、術前・術後に必要なことが問われました。(今後、外科的管理の内容が増えるだろうと予想している予備校もあつたりするそうです。) 国家試験のために実習を行うということは、実習の主たる目的とは外れる部分もあるかもしれませんが、朝のカンファレンス、総回診、各グループでの回診、術前・術中・術後に先生方が話している内容が国家試験の本番で大変役に立ちました。外科に興味のある学生の他にも、教科書や参考書を読むだけではイメ

ージしにくい外科的手技・管理をチラ見できる第一外科の実習は国試を控える学生の皆さんにも非常に意味のある時間だと思います。

最後になりましたが、北大第一外科、天使病院の皆様大変お世話になりました。有難うございました。